

令和3年 第11回総務経済常任委員会会議録

令和3年9月9日 議員控室

○事 件

協議事項

- (1) 要請のあった意見書の取扱いについて
- (2) 所管事務継続調査報告書（案）について

○出席委員（5名）

委員長 三 澤 公 雄 君
横 田 喜世志 君
宮 本 雅 晴 君

副委員長 牧 野 仁 君
大久保 建 一 君

○欠席委員（1名）

田 中 裕 君

○出席委員外議員（1名）

佐 藤 智 子 君

○出席説明員（0名）

○出席事務局職員

事務局次長 成 田 真 介 君

[開会 午後3時17分]

◎ 開会・委員長挨拶

○委員長（三澤公雄君） それでは第11回総務経済常任委員会をはじめます。

◎ 協議事項

○委員長（三澤公雄君） 委員長挨拶は割愛させてもらいまして、早速協議事項、要請のあった意見書の取扱いについて事務局から説明をお願いします。

○議会事務局次長（成田真介君） 委員長、事務局次長。

○委員長（三澤公雄君） 次長。

○議会事務局次長（成田真介君） 資料をご覧ください。送付のあった意見書でございますが、全国積雪寒冷地帯振興協議会から「豪雪地帯対策特別措置法の改正等に関する意見書」が提出されております。また、道議長会から「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書」と「国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書」について提出されております。

9月6日開催の議会運営委員会においても確認のありましたとおり、総務経済常任委員会で意見書を提出することについて、ご確認をいただきたいと考えております。

また、資料6ページにありますとおり「国土強靱化～」の中の記書き6番目「泊発電所～」の項目についてですが、道議長会からは、「地域性を考慮し削除してもよい」という意見があった旨の通知を受けておりますので、その項目の調整についてもご協議をしていただきたいと考えております。

以上、意見書の取り扱いについて、ご協議の程よろしく願いいたします。

○委員長（三澤公雄君） 今、事務局から説明がありました。まずは3本の意見書が出ています。「豪雪地帯～」と「コロナ禍～」と「国土強靱化～」の3つの意見書を総務経済常任委員会で取り扱うことの確認について皆様のお考えをお聞きいたします。取り扱いますか。

○委員（大久保健一君） この特措法の対象地区に八雲はなるの？

○議会事務局次長（成田真介君） 委員長、事務局次長。

○委員長（三澤公雄君） 次長。

○議会事務局次長（成田真介君） はい、八雲町も加盟しております。最初に意見書案の送付のあった資料にも付いております。

○委員長（三澤公雄君） そもそも、こういった豪雪地帯、道府県議会議長とか市町村議会議長宛てに来ているものだから、該当した町村向けに来ているんですね。2つ目の「コロナ～」に関しては町村議会議長宛てに来ているので、コロナですから全国の市町村が関係あるんですけども。「国土強靱化～」に関しても皆さん一緒でしょということなので。扱いますか。

○委員（大久保健一君） 「豪雪～」は扱いたいと思います。

○委員長（三澤公雄君） 「豪雪～」は扱います。「コロナ～」は。

○委員（大久保健一君） 「コロナ～」はちょっと今さら感が。いろいろな政党がコロナに関しては財政出動するという話になっているので、今さらこれを地方から声を上げるというのは、ないよりはあったほうがいいのかもわからないけども、今、上げてもどうなのかなという。必要ですか。

(何か言う声あり)

○委員長(三澤公雄君) 必要なのではないかという意見がありました。ほかに意見ありますか。

○委員(横田喜世志君) この内容を見ると、今、コロナ禍によって国が減税しているわけですね。それを期限どおりやめるという内容なんです。金をくれるという内容ではないんです。固定資産税がメインだけど、これ今、減税対象になっていると。それを元に戻せと言っているのがメインだと思うんです。

○委員長(三澤公雄君) 確かに、地方税財源の充実を求める意見書なので、ただ地方財政的にはわかる部分もあるんだけどね。

○議会事務局次長(成田真介君) 委員長、事務局次長。

○委員長(三澤公雄君) 次長。

○議会事務局次長(成田真介君) 「コロナ禍による」という書き出しにはなっておりますけども、コロナウイルスの感染症対策のほかにも、地方創生、雇用対策等、地方税財源の充実を求めるというところがメインであるというものであります。

○委員長(三澤公雄君) これまでも類似な地方財源の確保に関しては、だいたい意見書が出ていたということを考えればですね、総務で扱うということは八雲町議会で扱うということだと思いますので、もう少しこの資料を読めばですね、いわゆる自分たちの財政健全化に資する提言だというふうに考えたら、出す方向がいいのかなと思います。どうでしょう。

最初の観点、コロナ禍に対するいろいろな施策は、各論に移ってきたので、こういった総論的なものはいらぬのではないかという指摘だったんですけども、改めて読み直すと、地方財源を確保するためには、今、軽減措置されている地方税収の部分を早期に戻してくれと、さらにそれに代わる炭素税だとか、そういったものは地方税にもしっかりと入るようにしてくれよというような趣旨だと書かれていることを考えれば、総務経済常任委員会で意見書を上げてもいいのかなと思うんですが、どんなものでしょう。

○委員(大久保建一君) 議長会から出ているものだし、出すことには反対はしていませんので。取り扱うのでいいですよ。

○委員(横田喜世志君) ただ住民側にすると正反対なんだよね。住民側からすれば元に戻るイコール高くなるというかつこうになるんだけど。

○委員長(三澤公雄君) まあ税収で確保した分、地方も国だよりではなくて、コロナ後も積極的に出さなければいけないというものが突きつけられるのを覚悟しなきゃいけないなとは思いますが。

○委員(横田喜世志君) でも、こういうのって前の議会とかで、地方財源確保っていう意見書とか出ていたような気がするんだけど。

○委員長(三澤公雄君) 事務局どうですか。

○事務局次長(成田真介君) 前回、若干、内容が変わっているのかと思いますが、ほぼ同じ内容の意見書が去年、提出されております。

○委員長(三澤公雄君) 年度ごとに、次の予算で考えてくれよということで出していると。では、扱いましょ。「国土強靱化～」に関しては、6番目の泊発電所、これを削除するしかないか。

○委員(横田喜世志君) 八雲関係ないから削除。

(何か言う声あり)

○委員長(三澤公雄君) ここは特別に財源があるんでしょ。そのための電源交付金でないのかい。

○委員(大久保健一君) これどこから来たの。

○委員長(三澤公雄君) 北海道町村議長会。

○委員(横田喜世志君) 北海道治水砂防海岸事業促進同盟、北海道道路整備促進協会。この二つから。

○委員長(三澤公雄君) 昨年は削除していないようですが、よく読みますと、僕自身も泊発電所周辺は電源交付金だとか他の財源があるようなので、そちらで努力されればいいのかと考えると、6番削除ということもありだなと思います。限られた財源を有効に、強靱化に資する道路を整備する予算と考えた場合は、重複した予算の付け方というのは合理性を欠くと思われますので、1, 2, 3, 4, 5, 7で、どうでしょう。

(異議なしの声)

○委員長(三澤公雄君) では、そうします。もうひとつ協議なんですけど、総務経済常任委員会で3つ意見書があがっているんで、しゃべる人が委員長だけではもったいないと思うんですね。

○議会事務局次長(成田真介君) 提出者は委員長ということになっております。

○委員長(三澤公雄君) はい、わかりました。では確認します。豪雪地帯の意見書、コロナ禍の意見書、国土強靱化の意見書は取り扱うことにしました。但し国土強靱化に関しては、6番目の泊発電所云々については削除するというので常任委員会では決まりましたので、そのようにさせていただきます。よろしく願いいたします。

それでは2番目、所管事務継続調査報告書(案)について。

○議会事務局次長(成田真介君) 委員長、事務局次長。

○委員長(三澤公雄君) 次長。

○議会事務局次長(成田真介君) 総務経済常任委員会の所管事務調査報告書について、事前配付しておりますので、お目通しかと思いますが、今回、最終報告ということで、前回の中間報告書に、令和元年9月以降の調査内容を追加したかたちで作成しております。

この報告書(案)について、何か付け足すことなどありましたら、加えていきたいと考えておりますので、ご審議のほどよろしく願いいたします。

○委員長(三澤公雄君) 事前に配付していましたが、調査結果まとめとして、委員長として、これまでこういったことが議論されて、こういうことになったよなということを書かせていただきました。このことについて更に付け加えることだとか、何かありましたらご意見いただきたいと思いますが、いかがだったでしょうか。

○委員(宮本雅晴君) このままでいいんでないの。

○委員(大久保健一君) 素晴らしい出来だと思います。

○委員長(三澤公雄君) 継続調査報告書なので、引き続き、10月というひとつの山がありますけども、これを越えてきて、また総務経済を選んできた場合にはですね、に充実させていかなければならないということ、報告書を読みながら、皆様いろいろ考えていただければと思います。

◎ 閉会

○委員長（三澤公雄君） はい、それでは終わります。ありがとうございました。

[閉会 午後3時32分]